



旭三小だより

令和3年度 学校通信
第10号 12月24日(金)

旭川市立旭川第三小学校

「なりたい自分」「ありたい自分」

校長 三木 勝仁

「なりたい」という言葉は、目標を示すとともに、「今はそうではない」という状態も示しています。「なりたい自分」に向かうには、自分の中にある何かを種にし、育て続けていくことが欠かせません。自分の中にあるその種は、「ありたい自分」「自分の中にある大切にしたいモノ」ではないでしょうか。何を目標に、どのように取り組むのか、子どもたちと「なりたい」「ありたい」姿を考え、振り返りを重ねてきた2学期を本日終えることができました。皆様のお力添えに心より感謝しております。

さて、本校でのタブレットPCを用いた学習について、今月号では5年生の取組を担当の岩田教諭に紹介してもらいました。各学年ごとの取組紹介は、年明けも続きます。おたのしみに！

『旭川から日本・世界に視野を広げる』

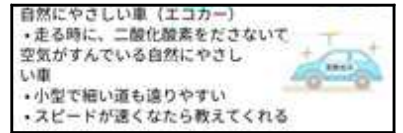
5学年担任 岩田 ちひろ

「見て、工場の中に入れるよ。」「こんな面白い自動車がある！」 iPadを見ながら子どもたちの交流が始まります。それぞれが興味をもったことを検索し、情報を集めて交換します。それをグループである程度集約して理解を深めてから教室に発信します。すると様々な視点からの情報が集まり、子どもたちの興味がさらに広がります。

5年生は、ほぼ全教科でiPadを活用しています。上記は社会科の学習の一場面です。日本の工業や海外とのつながりの学習では、現地に行くことはできないので、子どもたち自身が学習内容を身近に感じることに難しさがありました。ですが、1人に1台ずつiPadがあることにより、グーグルアースで現地の様子を詳しく見ることができたり、インターネットの資料を写真で撮って気付いたことや分かったことをロイロノートに書いたりすることができ、調べ学習の範囲が大きく広がっています。未来の自動車を考えたときには、今まで学習した色々な願いを含めた自動車を考えてそれぞれが1枚のカードにまとめ、それを互いに見ながら交流を深めました。自分のiPadで仲間が提出したものをみてコメントを付け、考えたことや感じたことを伝えやすいこともロイロノートの便利なところ。みんなの考えや願いが溢れた素敵な車がたくさんできました。

総合的な学習では、今の旭川市の素敵なおとろや課題を挙げて、よりよくするためにはどうしたらよいかを考え、ロイロノートにまとめてプレゼンテーションを行いました。子どもたちの個性が詰まったカードが出来上がり、お互いに見せ合うことでさらにアイデアが出てきて、よりよい旭川市東光地区にしたいという思いの詰まったノートができました。今までは模造紙や画用紙にかいての活動が多かったのが苦手を感じる子もいたのですが、ロイロノートだと写真や絵を貼ってコメントを打っての作業ですし、友達と絵や写真のやり取りができるので楽しく作成することができました。

このように子どもたちの学習の可能性が広がるという点で、ICTは学習に必要なものだと感じます。きっと使い方によってはさらなる可能性を秘めていると思います。実践を積み重ねては来ましたが、まだまだ未知な部分も多くあるので、私たち教員は研修や実践の共有など、子どもたちに有効的な使い方を提供できるように研修を深めていく必要があります。吸収力が大きい子どもたちから教えられることも多い毎日です。一緒に、でも私たちのほうが「一歩前へ」を意識しながら、子どもたちの学習に生かせるように活用に対する考え方と技術の向上に努めていきます。



すばらしい!

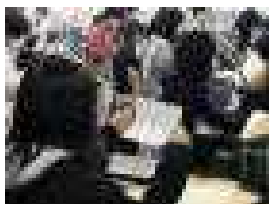
「午前8時20分」 4月号で「午後1時33分」の子どもたちの姿を紹介しましたが、今月号では「登校時間の5分後『8時20分』」の姿を。

各学級ごとに、また、曜日によっても違うのですが、子どもたちと先生が何かに取り組んでいることは同じです。何かの相談をしている、漢字の学習に取り組んでいる、今日の○時間目の学習の見通しを立てている…、ととてもすてきな時間、おだやかな学校生活の始まりを感じる時間です。

ご覧いただきたい場面と時間がたくさんある、すてきな三小です。

よく考える子～ 道徳の授業～家族の幸せ

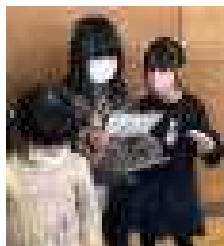
12月3日、6年1組で道徳の授業が行われました。テーマは「家族の幸せ」です。子ども達は、主人公の言動から、主人公の立場になって自分の考えをもちました。その考えをiPadのアプリで共有しました。書かれた内容を手がかりに、気になった友達のところへ行行って、なぜそのように考えたのかを交流し合うことで、お互いの考えを深めていました。



授業の終わりには、サプライズでそれぞれの保護者の方からの手紙が子ども達へ渡されました。一斉に歓声が湧き、真剣に読んでいました。保護者の方が「自分のことをこんなに考えてくれていたんだ」そんな内容が書いてあるような表情が見て取れました。この授業後、お家に帰って手紙のことが話題になったようです。「家族の幸せ」について改めて考えるきっかけとなりました。

よく考える子～ 参観日の学習とおして

12月14日の2年生の参観日では、保護者の皆様をお客様に「あそびのひろば」に参加してもらいました。生活科の学習として、1年生を紹介するためにはどんな工夫をしたらよいかを、見付けるための活動でした。



さて、21日は、いよいよ本番。1年生をお客様に「あそびのひろば」を行いました。会場は1年生の活気に包まれました。分かりやすくルールを説明したり、楽しめるようゲームの内容を工夫したりするなど、参観日の学習で得た課題を見事に解決し、2年生は「あそびのひろば」のバージョンアップを果たしました。

このような学習を通して、次の目標を見いだし改善や解決を図ることは、どの教科でも身に付けることができる大事な力です。「失敗は、成功のもと」ですね。

税に関する絵はがきコンクール学校賞受賞

税に関する絵はがきコンクールで、学校賞を受賞しました。代表として、優秀賞を受賞した児童

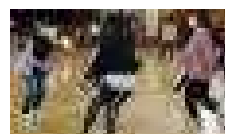
が、旭川中法人会女性部会会長の山田陽子様から賞状をいただきました。

絵画や作文、習字など、作品展に応募することは自分を高めるチャンスにつながります。冬休み中にも、いろいろな作品展があります。自分の力を試すために、ゆっくり取り組める冬休みを活用して、挑戦してみてください。

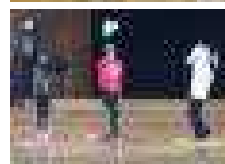


PTA活動

コロナ感染予防策をとりながら、工夫したPTA活動が行われました。



12月の参観日には1、2年生の学年行事が行われました。親子や対決のゲームなど、親子がふれ合う時間を久々に楽しんでいました。また、12月11日に研修部主催の紙ひこうき大会が、学年毎の時間差で行われました。参加した子ども達の中には、事前にお家の人と一緒によく飛ぶ紙ひこうきの作り方を練習したり、当日友達と競ってどのように飛ぶのか試したりするなど、思い思いに紙ひこうきを作り、飛ばしていました。



改めてPTA活動のよさを実感するとともに、内容を工夫して行うことの大切さに気づく機会となりました。

【紙ひこうき大会の結果】

年	1位	2位	3位
1	14.2m	10.8m	10.2m
2	10.3m	10.2m	9.8m
3	15.7m	12.4m	9.7m
4	15.1m	13.9m	12.9m
5	17.5m	13.2m	12.3m
6	18.2m	14.5m	10.8m

日	曜	1月の行事予定
14	金	3学期始業式、給食なし
17	月	冬休み図書返却、諸費引き落とし日
18	火	3・4年生スキー学習
19	水	二計測(4～6年生) 築瀬先生来校(3・4年生外国語)
20	木	5・6年生スキー学習
21	金	フレンドリー集会
24	月	朝会
25	火	3・4年生スキー学習
26	水	二計測(1～3年生)
27	木	5・6年生スキー学習

予定は変わることがありますので、学級通信でご確認ください。